

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 20-009

PDCA	事務事業名	子育て支援センター事業	部課等名	健康子ども部子育て支援課 子育て支援センター担当	担当	山田		
					内線等	22-4188		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第1節 子育て・子育て支援の推進 基本施策： 1. 子育て・子育て支援 単位施策： (1) 子育て家庭への支援 個別施策： ①地域における子育て支援						
	根拠法令等	子ども子育て支援法、児童福祉法、半田市市民交流センター条例						
	対象・目的	未就学の子とその親を対象に、子どもの健やかな育ちと親の子育て力の向上とともに、地域全体で子育てをする意識の醸成を図り、誰もが安心して子育てができる環境づくりを推進する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	地域支援活動の際に子育て支援センターの利用を促すとともに、赤ちゃん全戸訪問時に民生児童委員の協力を得るなどして、情報を届け、事業利用につなげる。ファミリーサポート事業について、様々な機会を捉えて加入PRに努め、援助会員の増加を図っていく。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
		①はんだっこ年間開館日	346	313	287	日		
		②子育てに関する個別相談件数	476	433	311	件		
		③ファミリーサポートセンター活動件数	3,340	4,632	3,525	件		
		事業費	24,345	24,410	24,316	千円		
		人件費	31,691	27,204	27,817	千円		
		総事業費	56,036	51,614	52,133	千円		
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
	①「プレイランド」利用者1人当たりのコスト	767	766	2,481	円			
	②乳幼児一時預かりの1回あたりの利用コスト	8,103	7,422	11,948	円			
	③ファミリーサポート事業の活動1件あたりのコーディネートコスト	2,853	1,969	1,835	円			
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
		①プレイランド登録率	実績値	77.0	76.0	71.0	%	
			目標値	80.0	80.0	80.0		
②一時預かり利用子ども数		実績値	1,775	1,956	1,228	人		
		目標値	2,150	1,900	1,900			
③ファミリーサポート援助会員1人あたりの依頼会員数		実績値	2.58	2.58	2.39	人		
		目標値	2.4	2	2.4			
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性		
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C 新型コロナウイルス感染症により、4～5月はプレイランドを閉館したが、検温・手洗い・マスク着用の徹底や消毒の実施等の感染拡大防止を図り、また利用時間・人数等の制限を設けることで、安心して利用してもらえる環境をつくり、6月から開館することができた。利用人数やプレイランド登録率は制限があるため大きく減少したが、平均滞在時間は以前と変わらず、安心して遊べる親子交流場所の提供ができた。また、利用者の声に応え、施設利用時の駐車場無料時間の拡大を図り、経済的負担の緩和を図った。一時預かり事業は、外出等自粛により利用者数は減少したが、事業を中止することなく実施し育児負担の軽減を図ることができた。ファミリーサポートセンター事業では、援助会員に対してマスクや消毒液等の配付を行い、コロナ禍でも継続して活動ができるように支援を行ってきたが、引き続き援助会員の確保が課題である。						
		今後の事業の方向性	改善推進 プレイランドや一時預かりは、安心して利用いただけるような環境を確保しつつ、利用者の増加を図るための利用方法等の検討を行う。また、地域全体での子育てを支援するため、地域で活動する子育て支援団体等との連携を強化して、情報の提供や共有を引き続き行っていく。ファミリーサポートセンター事業については、依頼会員のニーズに対応できるよう、援助会員の確保に努めていく。					
			令和3年度の目標	成果指標	目標値	単位		
①プレイランド登録率				80	%			
②一時預かり利用子ども数	1,900	人						
	③ファミリーサポート援助会員1人あたりの依頼会員数	2.4	人					
A 課題解決のための目								